



9月25日
東地申14号

2020年度ダイヤ改正検証についての申し入れ 【大崎運輸区】団体交渉を行う！（その1）

【共通】1. 拘束時間、乗務間合い、睡眠時間、乗り継ぎ時間を各行路で平準化をすること。
会社回答…列車ダイヤの設定や効率的な運用を勘案し、行路を作成している。

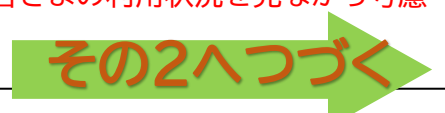
組合…乗務における疲労度や集中力などを考慮すると、各行路を平準化することが望ましいが、平準化できない理由は何か。
会社…列車ダイヤに基づき、乗務員勤務制度、乗務割交番作成規程に則って行路を作成している。どうしても列車ダイヤに縛られるため、画一的な行路にはならない。
組合…行路によって極端なので平準化すること。
会社…**現場の意見は受け止め、区所と意見交換しながら行路作成を進めていく。**

【共通】2. 2021年ダイヤ改正では、クロス提示から交渉内容を踏まえ、多くの社員がダイヤ改正に関われるようにすること。
会社回答…これまでと同様に、関係箇所と調整しながらダイヤ改正作業を進めていく考えである。

組合…現場でのダイヤ改正作業の進め方は？
会社…昨年同様、区所のダイヤ改正PTを中心に意見交換を行いながら進めていく。
組合…社員の、仕事に対する技量・知識等の向上のために、多くの人が関われるようにすべきだ。
会社…仕事に対する技量・知識等の向上のため、**社員が管理者に要請すれば閲覧や管理者への具申も可能である。**

【共通】3. 高輪ゲートウェイ駅開業後、運転時分・停車時分を検証し適正な時分を配置すること。
会社回答…列車ダイヤの設定は、お客さまのご利用状況や車両運用、設備条件等を考慮して設定している。

組合…高輪ゲートウェイ駅の運転時分・停車時分に対する会社の認識はどうか。
会社…適正な運転時分・停車時分がとられていると認識している。
組合…オリンピック・パラリンピックや少子高齢化を見据えた時の、今後の運転時分・停車時分に対する会社の考え方を示すこと。
会社…高輪ゲートウェイ駅周辺の街開きは2024年度、完成は2030年度を想定しており、コロナ禍前の恵比寿駅、五反田駅と同等の乗降人員を想定している。**今後もお客さまの利用状況を見ながら考慮していく。**





9月25日 2020年度ダイヤ改正検証についての申し入れ
東地申14号 【大崎運輸区】団体交渉を行う！（その2）

【共通】4. 新たな作業や、作業の変更が生じた場合、現地訓練を実施すること。
会社回答…必要な教育・訓練は実施していく考えである。

組合…高輪ゲートウェイ駅開業、原宿駅外回りホームの変更にあたっての訓練は、写真や映像だった。現地へ行き、目で見て肌で感じることで気付くこともある。現地に行つての訓練は大事である。
会社…現地に行つて訓練をするか、職場で写真や映像で訓練を行なうか、は現場での判断となる。現場で決めた訓練方法を会社は否定するものではない。
組合…原宿駅外回りの線路はホームの間に挟まれており、人身事故の対応方が周知されていない。
会社…まずは区所の指導担当や管理者に話して訓練・周知を受けてほしい。

【運転士】1. 平日・休日の6周行路を解消するために日勤2行路を増やすこと。
【運転士】2. 体調面・安全・安定性を考慮して継続乗務を行わないこと。
【車掌】3. 安全、働きがいを考慮し、日勤6周行路、休日欠行路を設定しないこと。
会社回答…列車ダイヤの設定や効率的な運用を勘案し、行路を作成している。

組合…疲労度や集中力などを考慮して、日勤6周の行路は解消すること。
会社…行路作成時、「日勤は〇周で」という取り決めはしていない。また、6周を解消するための行路作成はしていない。しかしながら、やみくもに6周ということもしない。
組合…休日の欠行路を設定しなければ休日は6周を解消できるのではないか。
会社…平日の朝ラッシュがない分、運転キロも減少するので、休日に欠行路が発生する。
組合…肌感覚だが継続乗務の途中でトイレに行く頻度も増えている。
会社…運転士の継続乗務が増えていることは認識しているが、乗務割交番作成規程から逸脱していない。
組合…一周あたりの乗務時分が増えており、負担増を感じている。
会社…一周あたりの乗務時分が増えていることは認識している。行路は効率性を勘案して作成している。
今後も区所と意見交換、ダイヤの変動を見ながら進めていく。

【運転士】3. 1時間30分ほどの乗務間合い時間が複数存在するため平準化を図ること。
会社回答…列車ダイヤの設定や効率的な運用を勘案し、行路を作成している。

組合…平日3行路・91分、33行路・94分、34行路・95分、36行路・104分と、乗務間合いが長い。
会社…日勤者の昼食時間帯、夕食時間帯とリンクしており、乗務間合いが長くなっている。
組合…その前後の乗務間合いが短い。乗務間合いの差が激しい。
会社…線区や区所全体のバランスを見ながら行路作成している。





9月25日 2020年度ダイヤ改正検証についての申し入れ
東地申14号 【大崎運輸区】団体交渉を行う！（その3）

【運転士】4. 単独日勤行路の出退勤時間を遅くし、居流しとして組めるようにすること。
会社回答…列車ダイヤの設定や効率的な運用を勘案し、行路を作成している。

組合…単発の早日勤が7行路もある。
会社…朝ラッシュは列車本数や入出区が多いのでこのような行路になってしまう。
組合…現在、枠外に設定されている行路と居流しを組めるのではないかと。
会社…**枠外に設定されている行路との居流しは検討できる。交番順序は区所との意見交換で作成できる。**
組合…単発の早日勤の一部を明けに設定することはできないか。
会社…泊りの行路を組む列車がないので困難だ。
組合…前泊前提で行路が作成されていると感じる。日勤は自宅から通勤できるのが通常だ。
会社…出勤時刻を下げるとなると、明けの人に乘ってもらうことになる。**現在の形がベストとは思っていないので、配慮できるところは配慮していく。**

【運転士】5. 休日32行路、33行路、34行路の出勤時間を12時以降とすること。
会社回答…列車ダイヤの設定や効率的な運用を勘案し、行路を作成している。

組合…泊り勤務で午前中の出勤は拘束時間としても長い。
会社…休日は日中帯の列車本数が多く、日勤者の昼食の時間帯とリンクして出勤が午前中になっている。
組合…短時間行路の71行路を休日の欠行路にしなければ改善できるのではないかと。
会社…**区所の「対象者による稼働率が低い」という実態と協議で欠行路を設定したものであり、欠行路を設定しないと出勤時間を若干落とせるが明けが遅くなる。**

【車掌】1. 下記の行路の昼食・夕食を目的とする乗務の中断時間が短いため、着着50分以上確保すること。
平日103行路・104行路・112行路 休日106行路・130行路・136行路
会社回答…乗務割交番作成規程に基づき行路を作成している。

組合…ゆとりを持った食事時間のため、50分とすること。
会社…規程の範囲内で行路作成しており、最初から「食事時間は50分で」ということで作成はしていない。
また、50分になると当然ながら拘束時間が延びてしまう。しかしながら、**40分では短いということ**は認識している。





9月25日
東地申14号

2020年度ダイヤ改正検証についての申し入れ 【大崎運輸区】団体交渉を行う！（その4）

【車 掌】 2. 下記の行路の睡眠を目的とする乗務の中断時間が短いため、到着点呼から起床点呼まで5時間以上確保すること。

平平119行路・120行路・122行路・123行路・125行路・126行路・132行路

平休119行路・120行路・122行路・125行路 休平125行路・126行路 休休125行路

会社回答…乗務割交番作成規程に基づき行路を作成している。

組合…ここに示した行路は到着点呼から起床点呼まで全て4時間台であり、疲労回復や明けの乗務も考慮して5時間台を確保すること。

会社…大崎運輸区泊で徒歩時分があるということは認識しているが、現状のダイヤ設定では困難である。

組合…近年、SASの乗務員が増えており、シーパップのデータを送るには4時間以上の睡眠が必要だ。

会社…SASの乗務員を念頭に行路作成はしておらず、4時間以上の睡眠が確保できなかったことを医師に伝えれば、「この日は乗務だったのだ」と認識してくれると考えている。

組合…乗務員の健康と鉄道の安全輸送のため、5時間台を確保することを改めて求める。

【車 掌】 4. 育児介護行路161行路の出勤時間が早くその趣旨に見合わないため、出勤時間を9時以降とすること。

会社回答…短時間行路については、線区ごとの輸送形態や箇所の実態に応じて設定している。

組合…育児介護行路が7時台の出勤では、行路設定の趣旨に合わない。

会社…161行路は育児介護行路と言うより、短時間行路として当務主務、指導担当、企画部門社員の兼務の行路として設定している。

組合…行路運用の実態として本線乗務員が乗務することが多い。

会社…7時台の出勤としたのは区所と意見交換をして設定したものであり、今後も短時間行路設定の趣旨に則り、区所と意見交換をして設定していく。

【設 備】 1. 原宿駅外回りにおいて、ITVの見づらい箇所があるため視認性の確認と調整を現場と行うこと。

会社回答…必要な設備の整備は行っていく考えである。

組合…原宿駅外回りのITVについて、5号車2番目のドア付近がしっかり映っていない。竹下口からのお客さまが滞留する付近で、車掌も神経を使うところである。

会社…言われた箇所の不備は区所から挙げられており、開業前と開業初日の初電に指導担当、管理者と一緒に確認・調整をしてきた。乗務していて設備に何か不調を感じたり不備が認められたりした時は、区所に報告してほしい。